

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立 小学校第1学年

	授業における課題や学力調査資料から見た課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・文法(促音・拗音・長音・助詞「は」「を」「へ」)の使い方が定着していない児童が各クラス5割以上いるため、文法の理解と定着が必要である。 ・聞きかたの基本姿勢、基本的な話し方などを身につける必要がある。 ・読書経験の差から、読書への興味関心や意欲、読書量については個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法の定着のために、手を叩いて言葉の拍を確認したり、文を書く時間を確保する。ワークシートを使い、書きたいことを順序よく整理してから、文を書くようにする。 ・友達の発表を聞いて、質問したり感想を言ったりする場面を設定することで、聞く姿勢を養う。話型を示すことで、事柄の順序を考えて話すことができるようにする。 ・図書館支援員の方と連携し、いろいろなジャンルの本の読み聞かせをしたり、児童同士が好きな本を紹介したりする活動を設定する。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数の合成と分解が正確にできない児童がいる。 ・繰り上がりのないたし算、ひき算の計算はできるが、立式が出来ない児童がいる。文章の意味を理解して、式に表すことが難しい児童がいる。 ・求補の場面になると、ひき算だと気付けない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入で、数の合成と分解の復習を繰り返す。 ・立式ができた児童には、「なぜその式になったのか。」理由を考えさせる。 ・具体物を用意して、求補の場面も求残の場面と同じ操作だということに気付かせる。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・植物や生き物の観察に時間を要し、気付いたことを共有する活動まで授業が進まないことがある。 ・気付いたことを詳しく書かない児童がいる。 ・新型コロナ対応で、地域や周りの人との関わりによる体験から気付いたことを共有する活動が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明することは簡潔に話し、観察する時間と共有する時間の設定をする。 ・観察する前に、色や形等、観察する項目を全体で挙げる。 ・よくできている児童の観察カードをお手本として全体に共有する。 ・身近な人々とかかわる場を設けることで、意欲的に活動できるようにする。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能が不十分な児童が3割程度いる。 ・鍵盤ハーモニカの演奏において、互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能が不十分な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な声で歌ったり発声したりする活動を通して、歌声に気を付けて歌うことができるようにする。 ・全体で演奏する前に少人数で演奏する活動を取り入れることによって、音が聴き取りやすい環境をつくり音を合わせて演奏できるようにする。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・現在までの生活体験の違いから、はさみやのり、テープを使う量などが苦手な児童が4割程度いる。 ・表現活動が不十分であるため、自分の思いを表現するのが苦手な児童が3割程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画に基づいて、クレヨン、絵の具、ハサミなど、段階的に指先を使う活動を多く取り入れ、用具の基本的な使い方に慣れさせる。 ・色々な向きで見せて見方を変えたり、使いたい色や、表し方を選択させたりして、問いかけて思いを聞き、思いを作品につなげられるように、状況に応じた指導を行う。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの運動経験によって個人差が見られる。(例: マット運動は積極的だが、足をつかったボール運動に消極的)運動の種目によって、できることと、できないことの差が大きい。 ・基本的な動きや技能を身に付けることが不十分な子や、その時の気分によって運動をしない児童が各クラス1割程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士での教え合い活動(得意な子から不得意な子への教え合い、声かけなど)や個別指導を取り入れていく。 ・たくさん褒めることや、それぞれの運動の特性や楽しさを味わわせる。場や授業展開を工夫することで、「楽しそう」「やってみよう」をより多く引き出し、どの運動にもすすんで関わられるようにする。学習カードで自分の目標を設定し、意欲を引き立てる。 ・コーディネーショントレーニングを通して、体をイメージ通りに動かすことができるようにする。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章から、大枠や価値項目などについて理解することが難しいことがある。 ・登場人物の行為や気持ちを自分のこととして考えることが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面絵を書画カメラで大きくして指差しをしながら説明を加えたり、黒板に視覚的に掲示したり、体験的に授業展開を行ったり、児童が理解しやすい工夫する。 ・「自分だったらどんな気持ちになるか」を学習カードに記載したり、友達の意見から自分に近い意見を考えさせたりなどを授業で繰り返し設定したりする。 ・学校生活でいろいろな体験を共有することで、自分ごととして捉えさせる。 	

※ 枠の大きさは適宜調整して、1枚に収まるように作成してください。